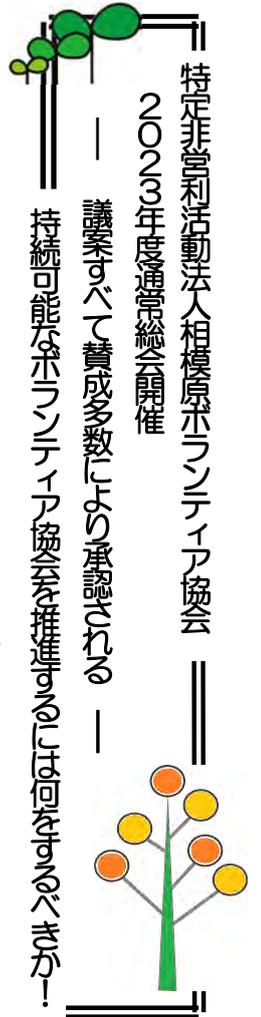




ぼらんていあ通信

6月号
通巻 No.499

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2023年6月20日
連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内
TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: https://sagamiva.info/



去る5月21日(日)午後2時~4時にわたってあじさい会館6階ボランティア活動室にて2023年度通常総会が開催された。

司会は西本敬さん。資格審査は事務局の堀一恵さんから「正会員111名、出席者22名、議決権行使者36名、委任状21名、合計79名で、2分の1以上での総会は成立」と報告があった。その後、議長に高橋健一さん、書記に小山美智さん、議事録署名人に小川紀江さん、橋本千香子さんが推選承認された。高橋功会長より「総会にご出席くださりましてありがとうございます。41回目の総会を迎えることができましたのもひとえに会員の皆様の努力と協力のお陰です。心より感謝し厚く御礼申し上げます」と挨拶があった。

審議に入りの《概要》は高橋会長、《事業報告》は加藤副会長が1号、2号議案まで丁寧に丁寧に説明された後、挙手により採決され原案通りの承認された。
第1号議案 2022年度事業報告
第2号議案 2022年度会計報告

《概要》
理事会は相模原市社協から阿部真由美さんに就任していただき、8人体制でスタートした。
「ハンディキャブ運行事業」は「コロナ禍の影響で稼働率が芳しくないのに加えて11号車の車両不良などの問題を抱えている。」

「ボランティア養成事業」は3日間の「傾聴ボラ

ンティア養成講座と、2023年6月のSDGsボランティア活動の春講座を開催。

「広報委員会」「DVD制作実行委員会」「ボランティア派遣事業」は順調に推移。事務局の強化や財源問題は事務局員自身の努力と、切手グループの地道な努力の積み重ねで得られた高額の金額の寄付のお陰で大過なく業務を遂行できた。これも会員の皆様のご協力なしではできないことなので、改めて厚くお礼申し上げます。

《事業報告》
「コロナ禍の中、ボランティア団体、市社会福祉協議会および行政との協働で、移送援助活動や日常生活支援などを通して、障がい者の社会参加の拡大を図ってきた。

ハンディキャブ運行事業は、安心安全をモットーに感染対策を徹底し延べ75回運行、小中学校の「みんないひこ体験講座」にも参加。

市民桜まつりと新春ボウリング大会は中止となったが、ほかほかふれあいフェスタは規模縮小ながら3年ぶりに開催。大いに賑わった。障害者週間キャンペーンは雨で中止。

孤立し孤独になりがちな方を対象にお話を聞く傾聴活動は、介護保険制度では担えない部分をカバーするもので、協会の存在意義を示せるように。就労困難な方々への社会参加の機会作りとして



大募集
急募！ハンディキャブ運転手さん
利用者の病院への送迎や外出支援が運転手不足でピンチです。運転免許とボランティアの心があればどなたでもできます。あなたの力を貸して下さい。
お問い合わせ：協会事務局（月～土 1000～1500）
042-759-7982



講座案内
この夏 講座を開催します！
あなたは大丈夫？
障がい者知らない間に差別していませんか？
～障害者差別解消法を知るための入門講座～
2023年7月22日(土) 13:30～16:30
講座の詳細は同封のチラシをご覧ください。
みなさまの参加をお待ちしています！

さがみはら若者サポートステーションの若者「ぼらんていあ通信」の発送作業を担っていらっしゃいます。延べ参加人数は56名。

高齢者や障がい者を対象に、相模原災害ボランティアネットワーク（SSKN）と協働で家具転倒防止のための援助活動を実施。4件の相談のうち、1件実施済み。2件は対応策の説明をし、他の1件は継続中。公益社団法人神奈川住まいまちづくりの協会からの要請で住まい探しのための相談会に、ボランティアとして年の回延べ12名派遣。

ボランティア養成事業では、2022年7月に開催した傾聴ボランティア養成講座の特筆すべきは、講座参加人数37名の受講生の中から11名が協会に入会したこと。2023年3月に開催した「ボランティア見本市 Part 2」新しいボランティアのかたちでは、市のSDGs推進室の協力を得て新しいボランティア活動を行っている団体を招き体験談を伺った。2022年度活動計算書には、市と県から燃料高騰助成金が支給し明記されていた。

監査報告は杉本栄治さんから、2023年4月22日監査を行い、業務の執行並びに経理の内容は適正であると報告があった。

第3号議案 役員改選

役員選出管理委員会委員長の下里さんから報告があり、挙手で役員全員承認された。また会長には総会後の理事会で加藤修さんが互選された。

第4号議案 2023年度事業計画

ハンディキャップ運行事業は福祉車



面2台とセタン10台で運行。稼働率改善、利用料金の値上げやボランティアへの支払い、津久井地域運行などの検討を進める。

毎月11日に実施している「幸せの黄色いシートキャンペーン」について質問があったが、店頭に立つPPR活動は、また再開の連絡はないとのことだ。

以上、第4号議案、並びに第5号議案2023年度予算案も挙手多数で承認され、すべての審議が終わり総会は無事終了。進行役の西本さんの提案で、退任される高橋功さんに出席者全員が盛大な拍手で労をねぎらった。高橋さんは、皆様の協力で滞りなく任務を終了でき感謝していると述べられた。

(山崎)

7月の記念日は？

小倉義男

7月10日、ウルトラマンの日です。1966年（昭和41年）のこの日、特撮番組『ウルトラマン』の放映が開始されたことを記念し、制定。前番組『ウルトラQ』の最終話が急遽放送されないことになったため、穴埋めとして宣伝イベントの様を「ウルトラマン前夜祭」として放映したそうです。また、7(なつ)10(とう)の語呂合わせから、納豆の日でもあるので、イラストはウルトラマンが納豆食べている場面です。(笑)

小倉画



手芸サークルの皆さま

手芸サークルの皆さま、今まで本当にありがとうございました。

ボランティア協会の皆様

2015年にボランティア協会員の有志で手芸サークルを発足しました。桜まつり、若葉まつり、ほかほかふれあいフェスタなどのバザーへ参加を致しました。延べ8年に渡り活動して参りました。現在4名になり、諸事情により継続が難しくなり卒業となりました。



* 欠乏のおまつり、無事終了致しました。お疲れさまでした。手芸サークル員として色々な事情により卒業となりますが、行事に参加できたこと、とても元気を頂いたこと、楽しい時間を過ごせたこと、人生の良い思い出が出来ました。

* バザー参加の感想ですが、これまで自由に活動させて頂きました。個々のアイデアを出し合って作った作品が市民の皆さまに購入して頂きとてもうれしかったです。ボランティア協会の皆様、材料をご寄付くださった皆様、ありがとうございました。

* わざわざカラー写真のぼらん通を送ってくださった心あたたまるお気持ちを感しました。今後の協会の発展に皆様の健康を心よりお祈り致します。

2023年5月31日

手芸サークル一同

SDGs推進課「50すもも」アプリ



まちのグリーン「Toモ」アプリ

令和5年度の5月10日から相模原市ではスマートフォンアプリ「まちのグリーン」の相模原市版「すもも」のサービスが開始されました。詳しく知るための5月20日(金)市役所本館3Fにある相模原市長公室みんなのSDGs推進課を訪ね、統括副主任榎本幸一様にお話をうかがいました。榎本さんは当協会の講師でも、何度かSDGsのお話をしていたとのことค่ะ。

◆まちのグリーンAppc.

株式会社カヤックが提供するスマートフォンアプリで、地域の「つながり」のための「コミュニティ通貨(地域通貨)」です。人やまち、環境などに良いことをする「コイン」が貯まり、「コイン」を使って、少しお得な体験や、お金では買えない特別な体験ができます。また、それぞれの「体験」はSDGのゴールと紐づいて、SDGsを自分ごと化する「つながり」が生まれます。通貨という名も、地域クーポン券やスマートフォン「チャージ」してお店で使える通貨では違いますが。

◆導入の目的は、

SDGsの自分ごと化や、地域における新しいつながりの創出(まちの地域コミュニティ)の活性化や



SDGs推進課の榎本さん

図る「つながり」を目的に開始しました。まちの「コイン」は使えば使うほど「つながり」が生まれる仕組みとな

っています。また、貯めた「コイン」を使わずにSDGsの目標達成を「すもも」の仕組みで応援することができます。

◆「Toモ」の役割は、

相模原市「住む」ことを楽しむことで欲しいという願いと、「相模 やがみ」という文字が「相模 すもも」という文字に似ていることから命名されました。ちなみに小田原の「コイン」は「おだちん」ค่ะ。

◆「Toモ」を使う「何がきっかけか」

「スポット」と呼ばれる市内のお店や団体、市役所などが用意した「ちょっとお得な体験」や、「特別な体験」をする事ができます。具体的には、飲食店でちょっとしたサービスが受けられたり、使われなくなっていたけど、実際にはまだ使える物や、お金では買えないオリジナルグッズなど交換する事ができたりします。また、特定の「スポット」に「すもも」を送ることで、その「スポット」の活動を応援する事ができます。すももを使うことで、地域のお店や団体のことを知ることができたり、これまでになかった「つながり」が生まれたらいいค่ะ。

◆「すもも」の貯め方

「スポット」が用意した、まちや人や環境に関する体験や、まちで「Toモ」を貯める事ができます。



SDGs推進課でチェックインを!

具体的には、お店のちょっとしたお手伝いやPR、イベントや講座への参加、エコバッグの持参、ユニークなものなどSDGsクイズへの回答などがあります。他にも「スポット」を訪ねて、設置されたチェックインのQRコードをアプリで読み取るだけでも1日一回「50すもも」を貯める事ができます。スタンプラリーがあるなど、ゲーム感覚で貯める事ができるのも特徴です。

良いことについて「すもも」を貯めてもらうことで、体験を「すもも」に。

ただ今「すもも」の付与や体験を提供している「加盟スポット」を募集中で、加盟するには経費はかかりません。加盟スポットになると、アプリユーザー(地域の人)とつながり、まちや誰かの役にたてるような体験を提供できたり、新たなつながりを作る事により、継続的に来店するファンが増え常連さんにつながるค่ะ。

「すもも」を貯めたり使ったり、ちょっとしたゲーム感覚のSDGsも学べ、人やまちのつながりを作っていくって凄いですね! 楽しんで下さい! お話を聞いてくださるうちにワクワクしてきました。

現在ユーザー数は15009、スポット数は149(6/8現在)で、若い人だけでなく60代や70代の方もいらっしゃるようです。まだまだ数は少ないので増やしていきたい、最終的にはアプリがなくても顔なじみのお店があったり、知り合いがいっぱい増えていく地域になって欲しいとおっしゃっていました。

実際にアプリを操作しながらわかりやすくお話ししていただきました。ありがとうございます。取材にうかがった田には「みんなのSDGs推進課」にチェックインして「50すもも」を、また市役所別館1Fにある給水機でマイボトルに給水して、「100すもも」をいただきました。(恒藤・小山)



理事会報告

6月10日(土) 理事会(理事者名出席)
1. 報告事項

〈広報委員会〉

・ハンディキャップ運動者自募集記事を掲載する。

・寄付募集の記事をSNSに掲載する。

〈ハンディキャップ委員会〉

・7/29(土)にハンディキャップ交流会を企画する。

〈事務局委員会〉

・ハンディキャップ運動希望者1名から連絡があった。

・ハンディキャップのポイント利用希望者があり、この機会にポイント利用の進め方の詳細を整える。

〈講座検討委員会〉

・7/22(土) 障害者差別解消法についての講座を開催するにつき、チラシができたので広報を行う。

〈DVD制作実行委員会〉

・会員へのインタビュー番組(5分)を制作中。

〈傾聴委員会〉

・コロナ禍で休止した傾聴活動もあるため、再開検討についてケアマネージャーとコラボを開始した。

〈その他〉

・交流ボウリング大会の実施詳細について確認した。
・ほかほかふれあいフェスタ(10/21)開催詳細について、実行委員会と検討をしている。健康フェスタやパラスポーツフェスタと同時開催となる。

2. 審議事項

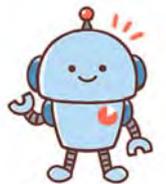
・市および市社協表彰への会員推薦を行うこととした。

次回理事会は7月8日(土) 10時より



クイズに挑戦

身近な存在になりつつあるロボットについてのクイズです。



- ①「ロボット」の語源となった言葉の意味は、
ア) 近未来 ① 強制労働 ② 機械人形 ③ 反達
- ② イギリスのオックスフォード大学の博士らの研究によると、今後10年から20年の間で、日本の労働人口のおよ半分のくらいがロボットやAIによって代わられると推定されている。
- ③ 次のうち、SF作家のアシモフが唱えた「ロボット工学三原則」にないものはどれか。
ア) ロボットは自己を守らなければならない ① ロボットは人間に与えられた命令に服従しなくてはならない
② ロボットは人間に危害を加えてはならない ③ ロボットは進化し続けなければならない

相模原ボランティア協会 7月の予定

日	時間	内容
4(火)	10:30~	ぼら通部会
8(土)	10:00~	理事会
15(土)	13:00~	事務局委員会
	14:30~	HC委員会
18(火)	13:30~	ほかほか役員会
22(土)	13:30~	入門講座
25(火)	10:30~	ぼら通6月号印刷・発送
28(金)	14:00~	DVD制作実行委員会
29(土)	14:00~	HC活動者交流会



～ 幸せの黄色いレシートキャンペーン ～
今年も寄付をいただきました

毎月11日はイオングループの黄色いレシートの日です。この日の買い物のレシートを当協会のボックスに入れていただくとお買い上げ金額の1%がイオングループから当協会に寄付されます。

当協会が参加しているお店は下記の4店舗です。この店舗でお買い物をされる際はぜひご協力をお願いします。

《当協会参加店舗》

イオン橋本店

ダイエー上溝店

ザ・ビック相模原西橋本店

グルメシティ淵野辺本町店

※今年も前年度分として4店舗計61,478円の寄付をいただきました。

クイズの答え

- ①は、①強制労働(「robot」の語源はギリ語の「roboter」の「robota」は強制労働を意味します)
- ②は、①2分の1
- ③は、④ロボットは進化し続けなければならない。



高橋則会長退任の1ヶ月挨拶

退任にあたって

高橋 功

私は、5月21日の総会で3期6年の任期を終了し会長を退任しました。これは偏に協会の会員の皆様、理事会の皆様、各委員会の皆様並びに市社会福祉協議会や関連の各団体の皆様の「支援」協力のおかげに深く感謝し、厚く御礼申し上げます。

私は7年前、理事に立候補する際、「選挙管理委員長から理事推薦」あたり81歳という年齢のことを考えましたが、どうしても候補者が見つからないので是非立候補してほしいといわれ平理事なら軽い気持ちで立候補しました。ところが理事顔合わせの時に会長就任を迫らねお受けしました。

この6年間の任期中最大の事件は新型コロナウイルス感染症です。2019年に中国の武漢で発生した「コロナ感染症」は2020年2月に日本に上陸し、4月には緊急事態宣言で事務所の閉鎖、H.C.、傾聴や講座などの事業も一時的に中止しました。委員会、理事会や総会も書面審議やZOOMによる会議を開催しました。緊急事態宣言解除後あじさい会館が使用可能となった後も身体的距離3密、マスクや消毒の徹底など注意を払って活動しました。このよきな状況の中で「ほらんていあ通信」だけは外部で印



刷し委員会メンバー宅に持ち帰り発送し休むことなく活動していただきました。

この6年間、何をやったかというご定款の役員規程の変更、入会初年度会費の免除、H.C.運転手の80歳定年制を決め、15年に活動を始めた傾聴活動を「傾聴委員会」とし、福祉に関する教材の作成を目的とする「DVD制作実行委員会」を発足させました。それに「反し」総合企画委員会」を休眠状態とし、「わくわく」も50号で休刊しました。講座については従来の実行委員会形式はなくなり「ZOOM」の講座や「SDGs」ポランティア活動などを今までと違った講座を開催しました。さらに相模原市の進めるSDGsによる持続可能な市の基本構想に賛同しパートナーとして登録しました。

2021年はボラ協創立40周年に当たり40年史を発刊しましたが、ボラ協創立の原点である「相模原市社協との協働関係」や「地域のボランティアグループとのネットワーク」をさらに強くして、力強いボランティア協会になることを願っています。

最後にありますが、超後期高齢者である私をいろいろ支えてくださる改めて感謝いたします。本当「あじさい」がうまいです。



ほかほかふれあいフェスタ実行委員大募集!

「ほかほかふれあいフェスタ」は障がいのある・なし問わず、誰もが楽しめるおまつりです。今年も10月21日(土)にあじさい会館及び周辺施設、11月25日(土)は障害者週間キャンペーンを相模大野駅北口のサンデッキ相模大野での開催が決定いたしました。このおまつりは実行委員会形式で企画・準備・当日運営などをおこなっていきます。

一緒に実行委員会に加わってくださる方を募集します。
 ○集まり・・・6月～12月の月1～2回、あじさい会館にて
 平日夜(午後の時半～8時半頃)

※日程は実行委員会内で毎回調整をしながら決定します。

○直近の実行委員会の予定 〓 8月30日(水) あじさい会館

○ほかほかふれあいフェスタ当日・・・10月21日(土)終日

※ホールリハール・・・10月14日(土)終日、あじさい会館ホール

※障害者週間キャンペーン・・・11月25日(土)サンデッキ相模大野

◆当日の参加をお願いいたします◆

○実行委員会内容・・・広場(あじさい会館外の「コーナー」「ホール」あじさい会館ホール)「館内(あじさい会館内)の3部門(「コーナー」でダンスやバンド演奏、大道芸、作業所等の出店、体験「コーナー」などを計画しています。

全体を通しての企画を練り、調整・連絡を、当日は会場設営や片付け、司会進行などを先に参加をしている実行委員とでも「フェスタ全体の運営の中心」として活動します。

※館内・ホール・広場、各部門ごとの打ち合わせは主にメールを使用します。必要がある際に集まりの場を設けます。

※実行委員会や各部門の集まりに欠席の回が多少あっても構いませんが当日の参加をお願いします。

連絡先 ほかほかふれあい実行委員会事務局

相模原ボランティア協会

042-759-7000



ボランティアさん募集！ フードバンク活動のお手伝いをしてみませんか？

依頼者：NPO 法人サテラ

①自家用車で工場（橋本台）から食品を引き取り後、子ども食堂（橋本・光が丘・上溝等）へ運搬

日 時：毎週水曜日・土曜日 1～2時間程度

②ファミリーマート店舗（中央・田名・相模大野等）にてフードドライブ食品を回収・運搬

日 時：毎月第2・4土曜日

③生協（田名）での寄贈食品の引き取り・運搬

日 時：毎月第2・4金曜日

※いずれの活動も謝礼（ガソリン代程度）をお渡しします。

※可能な日時のみでの参加でも可。



連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所：電話 042(759)7982

相模原市社協 中央ボランティアセンター：電話 042(786)6181

メール svc@sagamiharashishakyo.or.jp

☆子どもの居場所づくりセミナー☆ 受講生募集！

「子ども食堂」や「無料学習支援」等の子どもの居場所づくりを行う上で役に立つ情報や実際の活動事例をお伝えします。

日 時：令和5年7月8日(土)

午後2時～4時30分

場 所：あじさい会館6階 展示室

定 員：子どもの居場所に関心のある方 50名

申込み：右の二次元コードを読み取り、専用のフォームに必要事項を入力

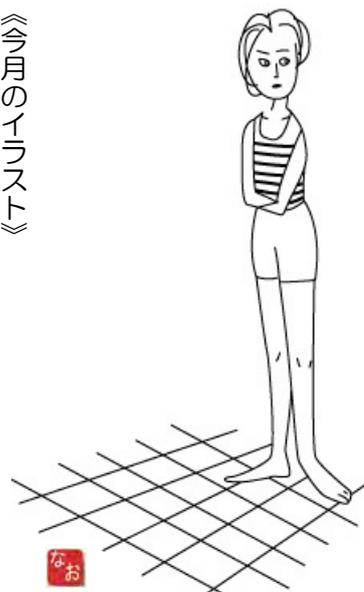


《問合せ》相模原市社協 中央ボランティアセンター

電話：042-786-6181 FAX：042-786-6182

メール：svc@sagamiharashishakyo.or.jp

♪ 《今月のイラスト》
♪ アクアランためらいがちな
この水着
(フール女子)



山口尚美画

編集後記

人工知能(AI)の活用を廻り、色々と話題が尽きない。我家も数年前にスマートスピーカーのアレクサを購入し、アップデートをつけて「5分経ったら教えて」などとお世話になっているが、あまり使いこなせていない。反対に「湿度などを知りたいですか」などと聞かれる。
AIに使われないようにするにはどうすればいいのかが我が家の課題となっている。

(恒)

ご寄付をありがとうございました。

皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切に使用させていただきます。

<5月の寄付者>

手芸サークル様、伊藤達也様他4名の方からご寄付をいただきました。

<5月の寄付金>

総額 71,678円でした。